

COREFとの連携によるジグソー型授業 授業案

学校名： 有田川町立石垣中学校 授業者： 面矢 和弥 先生

教材作製者： 面矢 和弥 先生

授業日時	2010年12月8日	教科名	社会科
学年	第一学年	生徒数	21人
単元名	元の襲来と鎌倉幕府のおとろえ	本時／全時数	1／3

この授業のねらい
元・高麗・鎌倉幕府のそれぞれ立場から元寇を多面的・多角的に考察し公正に判断すると共に適切に表現する能力と態度を育てる。
授業の中で答えを出してほしい課題
元寇はなぜ起こったのか。
各エキスパート活動の課題（分かってほしい内容）
<ul style="list-style-type: none"> ・元の事情 ・高麗の事情 ・鎌倉幕府の事情

エキスパート活動 グループ編成
7人×3グループ
ジグソー活動 グループ編成
3人×7グループ

備考（クラスの様子、事前に予想される指導上の課題など）
今回3回目のジグソーであるが、転校生1名が加わっている。前回ビデオで見てもらった彼らが、この資料にどれだけ意欲を燃やしてくれるか楽しみである。本来なら1時間ものであるが今回も2時間続きで社会科を設定している。

学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
0	<p>蒙古襲来絵詞をみて気づくことを発表する。</p> <p>本時の課題を確認する</p> <p>元寇はなぜ起こったのか</p>	<p>○元軍の顔に注目させ元軍だけではないことを知らせる。</p>
7	<p>エキスパート活動</p> <p>各班に配られた資料について、各自が読み込み、班で話し合いながら理解して説明する準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料にアンダーライン等を引く ・資料を理解し課題に関連づけて説明できるように班で協力する 	<p>○ 資料を理解する時間を十分とるよう配慮する。</p> <p>○ 班の再編成後（シグソー班）は、その資料を知っているのは自分一人であることを理解させる。</p>
20	<p>シグソー活動</p> <p>シグソー班に再編成し、エキスパート活動の資料をそれぞれが説明し、本時の課題に対する解答と、なぜそうなるかの説明を考える</p>	<p>○ 3つの資料を組み合わせ、質問（本時の課題）の答えを出すように支援する。</p> <p>○ 一人一人が、自分で納得した答えが出せるように支援する。</p>
40	<p>クロストーク活動</p> <p>課題について説明しながら答えを発表する。</p> <p>自己評価</p>	<p>○聞き手は共通点や相違点を意識し質問があれば出させるようにする。</p>